

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 24 日

札幌市立 新光小学校

1 今年度の重点目標

- ・学年経営を基盤とした1年間の学びを重視するとともに、6年間の学びの一貫性、連続性を重視した教育課程を推進する。(開校50周年の取組を含む)
- ・「知・徳・体」の調和のとれた教育を行い、一人一人の多様性を認め、自立を支える。

2 本年度の経営方針

【経営の柱】 ・組織としての学校力の向上 ・専門職としての確かな教師力の向上
 【経営の視点】 I 知・徳・体の調和のとれた育ち II 信頼される学校の創造 III 連携・協力・発信

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	知・徳・体の調和のとれた育ち	つよい子 かしこい子 心やさしい子	B	「つよく かしこく 心やさしい新光の子」が児童、教職員の意識に位置付いている。目指す姿と教育課程の関連を見直し、取組の改善を図っていく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		具体化への方策と子どもたちの姿を見取りながらの改善の手立ては今後も期待できる。焦点化して見える化している点も素晴らしい。日常の子ども同士の関わりや、困難なことに挑戦する中で「つよさ」や「やさしさ」が育まれることがある。個々の子の育ちをより明確にしていくことが大切である。				

人間尊重の教育	信頼される学校の創造	①学年・学級経営の充実 ②子どもの発達への支援 ③「学習活動、人間関係、環境」づくり	B	学びのサポーター、相談支援パートナーの充実により、きめ細かに対応できる教育環境の整備に取り組んだ。学びの支援全体会での情報共有等、困り感を抱えた児童に対する組織的な対応に努めた。子どもの居場所や関係性を深める温かい関わりをより充実させていく。	A	A
「学ぶ力」の育成	知・徳・体の調和のとれた育ち	①課題探究的な学習 ②自治的な活動 ③本物の経験となる場の創出 ④相互承認の感度の向上	B	担任全員が公開授業を行い、教材開発や子どもの関わりについて検討した。課題探究的な学習のプロセスを意識した授業改善に取り組んだ。総合的な学習の時間やICT活用のカリキュラムを再構成し、さらに学びの積み上げが図られるようにしていく。	B	B
「豊かな心」の育成		①いじめの防止 ②命を大切にする指導 ③道徳教育の推進	B	三つの「あ」（あいさつ・あるこう・ありがとう）を大切にすることをもち、委員会活動等での主体的な取組も見られた。「命を大切にする週間」における取組を教育課程に位置付け、意識的、継続的な取組にしていく。	B	A
「健やかな体」の育成		①体育・保健体育等の授業の充実 ②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組 ③子どもが自らの健康の保持増進を図る取組	A	体を動かす遊びを推奨したり、なわとびデー、跳び箱・マット週間で運動機会を充実させたりする取組を行った。「体育発表会」を他学年との関わりも重視する形態にし、さらに意欲的に取り組めるものにしていく。	A	A
いじめ対策		①未然防止・早期発見・対処 ②学校いじめ防止基本方針に基づく組織的対応	B	生徒指導対応シートを活用し、事実確認、記録、情報共有を行っている。子どもの様子やチャットログの回答傾向などに注視し、複数の職員で情報共有するなど、小さな変化を見逃さない体制づくりを進めていく。	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	連携・協力・発信	①保護者・地域との連携・協力 ②幼保小中高との連携・協力	A	幼保の学校見学、札教研での授業交流、学びのデザイン等、パートナー校と連携した取組を継続して行っている。保護者の声を取り入れ、学校行事の在り方について再検討している。今後は、学校運営協議会での発信、協力体制の構築に力を入れていく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		いかに見通しと計画性をもって教育活動していくことが大切なのかを、すべての取組から見取ることができて大変よい。「豊かな心」の育成に関しては、地道な取組が成果につながっている。また、「健やかな体」の育成では、一人一人に自信を持たせる手立てがよい。いじめ対策での「生徒指導対応シート」の活用は素晴らしい。今後も、協働化して子どもたちに関わってほしい。コミュニティスクールの成果に期待したい。				

学校独自に設定する分野	開校50周年に向けた取組	A	日常の活動をベースにし、子どもが自分たちでお祝いする活動にできた。今後の「自治的な活動」に結び付け取組していきたい。	A	A

学校関係者評価委員会による意見
 全員の力を結集しての開校50周年の取組は、一人一人の子にとっても素晴らしい思い出となったと思う。個々の子を複眼的に見て、先見性をもって、心をつなげて成長する教師集団として教育活動にあたっている点が大変素晴らしい。地域・保護者にも取組の内容や意図を積極的に伝えていくとよい。